

子供の町 だより

創刊：昭和 24 年 11 月

発行：社会福祉法人 子供の町

児童養護施設 子供の町

児童養護施設 エンジェルホーム

地域小規模児童養護施設 菜の花

TEL：048-746-0206

FAX：048-746-9215

HP：<http://kodomonomachi.or.jp/>



「2020・夏祭り」

社会福祉法人子供の町
理事長 齊之平 伸一

今年の夏は、高気圧が重なり猛暑が続きました。日頃は、子供の町に対しまして、あたたかなご支援を賜り心より御礼申し上げます。

恒例の「子供の町夏祭り」を、8月30日、日曜日に行いました。

今回は、新型コロナウイルスの感染防止を最優先に、参加人数を限定しました。

ダンスクラブは2回、元気一杯にリズムに乗り踊ってくれました。次に、「まりずむん」の方々による打楽器の演奏。マリンバの美しい音色が園内に響きました。夏祭りらしく、賑やかな南国の音楽を演奏いただきました。

幼児神輿では、揃いの法被を着て、「よいしょ、よいしょ」とかわいい掛け声を上げ、園内を練り歩きました。

日が落ちた頃、花火が打ち上げられ、閉会となりました。

コロナで規模は縮小しましたが、子ども

たちにとって楽しい思い出の1ページが加えられたと思っております。

猛暑の中、準備いただいた方々に感謝申し上げます。



施設長挨拶

子供の町 施設長 坂本 仁志

令和2年の夏、本来であれば東京オリンピックが盛大に開催され、その余韻の中で迎える夏休みだったはずが、新型コロナウイルス感染拡大によりオリンピックも延期となり、感染も収束しない中で、例年になく夏を迎えました。夏休みも短縮され、プールや海水浴なども閉じられた寂しい夏の風景でした。そんな中でも子供の町では、職員が頭を捻り子どもたちの感染予防を徹底したうえで、楽しんでもらえるような行事を計画し、例年とは違う形での夏季活動や夏祭りを楽しむことが出来ました。幸いに事故や感染もなく夏休みも終わることが出来ま

した。企画した職員、引率や開催にご協力いただいた関係者や職員の皆様ありがとうございます。

新学期に入ったある日、短大に通う卒園生から、現在通っている短大から 4 年制の大学へ編入したいとの相談がありました。2 年間の勉強だけでは、社会に出て行くのに不安があり、もう少し知識や経験を大学で積んで、自分の中に自信を付ける必要性を感じたとのことでした。自己分析をしっかりとしたうえで、自分の未来のため考え抜いたうえの相談と受け止めました。

厚生労働省の資料によれば、全国の平成 30 年度末に高校卒業後に大学等に進学した児童は 51.9%に対して、児童養護施設の児童は 14.0%という結果でした。この数字の格差には、様々な要因があるものと思われ

ますが、学びへの意欲がある児童が経済的な理由で進学をあきらめるしかないケースも少なからず存在します。親等からの支



援が望めないケースがほとんどの児童養護施設の子どもたちに現在、様々な奨学金制度や家賃や生活費の貸し付け制度など、随分と支援する制度が出来てきました。また、子供の町では、後援会が子どもたちの様々なサポートを行なってくれており、現在大学に通っている 4 名の卒園生も後援会からご支援を頂いております。コロナ渦で飲食店でのアルバイトをしていた卒園生の一人は、「アルバイトでの収入がなくなりましたが、後援会からのご支援があったことで何とか生活を送れました。」と感謝しておりました。

編入を希望して相談に来た卒園生とは、

編入した際に係る学費とその 2 年間の生活費、現在住んでいる処に住み続けられるのか、編入希望の大学で学びたいこと等、様々な話しをしていく中で、本人自身が卒園後これまでの間しっかりと学業と生活を節制しながら両立してやってこれたことに感心しました。そして、前向きに自分の未来を考えていることに何としても応援してあげたい気持ちになりました。

原則、児童養護施設に在籍できるのは 18 歳までの期限（20 歳までの措置延長も認められることもある）がありますが、一般家庭でも 18 歳や 20 歳で自立していくケースは、そう多くないのではないのでしょうか。家庭からの支援が望めない卒園生が困ったり悩んだりした際に相談できるところと考えた時に、幼い頃から知っている施設を頼ることが実情としては、望ましいのではないかと思います。そうした卒園生に対する支援も児童養護施設に求められる役割とされています。社会に出て困った時や相談したい時に、尋ねてきてくれるような施設作りに努めていく必要があります。

改めて今回の相談を受けて、卒園生のそれぞれの夢や希望の実現のためにアフターケアの必要性を感じました。誰もが自分たちが望んで施設に入ってきたわけではありません、その子たちの人生の礎となる時期に関わった施設の職員として、相談に応えられるような施設作りをしていきたいと考えています。

「繋がり」

エンジェルホーム施設長 堀江 豊子
今年ほど「当たり前で過ごせることのありがたさ」を実感したことはなかったので

はないかと思います。人と会うこと、会って楽しくおしゃべりすること、普通に外に出掛けること、好きな所へ旅行すること、楽しく外食すること。

いつになったら以前と同じようにできるのか、はたまた以前と同じようにはできないのか、この先がみえません。

学校も 6 月から始まり 7 月末で 1 学期が終了。前例のない 1 学期、楽しみにしていた行事も殆ど中止となりました。梅雨明けも遅く、他県では水害のニュースもありました。8 月に入り夏休みがスタート、夏本番の暑さ（猛暑）、コロナ禍・熱中症など心配がある中で、子どもたちと日々向き合い対応してくださった職員方々には感謝しております。

2 学期も始まり 8 月の下旬に施設の夏祭りを行いました。例年だとたくさんの方々をお招きしてにぎやかな夏祭りのはずが、今年は施設内での夏祭りとなり人が重ならないように配慮したゲーム中心の祭り、女の子たちの浴衣姿を見てお祭りを感じ夏が終わりました。

コロナ禍の中・・・今年 3 月に卒園した子どもたちです。

パン工場に就職した女兒ですが、職場・寮生活と新しい事ばかりで戸惑いがあったと思います。更に今年の夏は猛暑と職場の熱気もあり、熱中症にかかり救急搬送されました。

元々おとなしい女兒ですが、具合が悪くなると言葉数もほとんどなくなる子どもで、

社会人になり見知らぬ救急隊に話しかけられて言葉が出てこなかったようです。

病院で点滴を受け回復をして現在は部署も変えていただき元気に仕事をしておりま

す。

その後携帯電話が壊れたと連絡があり機種変更をしたいがどうしたらいいのか？と職員に連絡が入り手続きに行きました。未成年の為保護者の同意が必要との事でスムーズに手続きができませんでした。施設を出て必ずぶつかる壁です。会社の上司に相談するように助言をして無事に携帯電話の機種変更ができました。卒園した途端色々なことにぶつかります。

もう一人は、自衛隊に入隊した女兒です。コロナ禍での訓練は大変なようですが、同僚の方々と楽しそうに訓練をしているようです。初給料をもらい施設の子どもたちに同僚の方々とダンボールに寄せ書きを入れてお菓子を送ってくれました。

休暇になると施設に顔を出し一緒に過ごしていた一つ下の高校生を連れて買い物や食事を御馳走してくれます。先輩ぶりを発揮！

今月荷物を取りに来た際に東京の駐屯地（武器科）に異動となりましたと報告してくれました。「武器科？」と聞くと、本児は車整備の方に配属になったそうです。訓練は大変そうですが、たくましさも感じました。

男児で都内の酒類卸会社に就職。コロナ禍で新スタートが遅れましたが、やっと埼玉センターに配属が決まる。朝 4 時 40 分に起きて 5 時 17 分の電車に乗りさいたま市まで通勤。センターは駅から徒歩 3 分ぐらいとの事。朝早いので、夜は早く寝ると話す。配送エリアは春日部・越谷・吉川・八潮で駅前の居酒屋やショッピングセンターにも来ているとの事。今は運転手の横に乗って飲料の搬入を主にしている。月 10 回ぐら

い休みがあるが、シフト制で休みが決まった曜日ではない。給与は交通費込みで手取り 20 万円ぐらい。仕事は楽しく、会社の人とも仲良くやっている様子。社内でサッカーの好きな人が集まって月 1 位のペースで活動している。場所が豊洲なので、ちょっと遠いけど楽しいと話す。

寮舎の子どもへ各部屋 1 箱ずつアイスを買って来る。本人、仕事の大変さがわかったとも話をしていました。

卒園生に続いて、今年度エンジェルホームで生活している高校 3 年生は、7 名おります。新型コロナ禍の中、それぞれ就職先を探し見学・説明会に参加しております。車が好きだから車関係の仕事に就きたい・人のかかわりが苦手なので運搬業をやりたい・カッコいい仕事がしたい（美容師・パティシエ）・など、思い思いに自分に合った職業・住まい探しに忙しく動いております。

自立をしていく子どもたち、少しずつ不安が大きくなる時期でもあります。常に大人数と暮らしてきた子どもたちは一人暮らしへの不安・寂しさがあります。

自立後、何を知らないのかがわからない手探りで知識を身に付けていく日々だと思います。施設職員として退所後も繋がりが続けることが自立支援であり、子ども達が自信を持って社会に羽ばたけるように繋がりがつつ見守っていきたいと思います。

専門職から



「家庭支援専門相談員として」

エンジェルホーム

家庭支援専門相談員 大塚美帆

家庭支援専門相談員として始動して半年が経とうとしています。

今まで以上に家族支援について考えたり、児童相談所へ出向く回数も増えました。保護者を交えた協議に出席したり、時には高校生 3 年生の就職試験の相談にのったりしています。子どもと直接関わる時間は少なくなりましたが、少し離れた距離で関わることで見えてくることもあり、寮舎の職員へ気づきとして伝えるなどしています。

いただいた役割に責任を持ち、今後も務めていきたいと考えています。

**入学・新型コロナウイルス感染
拡大の影響で、今年度は 2 か月遅
れの入学式でした。**

**幼稚園 4 名 小学校 5 名
中学校 9 名 高校 9 名**

27 名の 1 年生が誕生しました。

「にゅうがくしてからがんばりたいこと」

子供の町 すいせん 小 1 A.I.

わたしはがっこうに、にゅうがくしてからがんばりたいことはさんすうのひきざんとたしざんです。けいさんカードをはやくじょうずにできるようにがんばりたいとおもいます。

「いちねんせいになって」

エンジェルホーム 5B 寮 小 1 M.O.

いちねんせいになっていちばんうれしかったことは、せんせいにほめられたことです。どうとくのべんきょうでひらがながじょうずにかけているねとほめられました。それがとてもうれしかったです。



「中学生になって」

子供の町 たんぽぽ 中 1 Y.S.

僕は、中学 1 年生になって、大変な事と楽しい所がありました。

大変な事は、部活の新人戦です。僕は陸上部に入っていて 9 月に新人戦があります。僕は、100 メートルと走り幅跳びをやりま
す。100 メートルはぎりぎり 5 位、13.8 秒
でした。とても大変です。

楽しいところは、別の小学校から来た人
たちや先輩との関わりです。別の小学校の
人たちは、面白い人達がいっぱいです。先輩
は話しやすく頼れる人たちです。

これからの中学校生活が楽しみです。



「コロナの入学」

エンジェルホーム 9 寮 中 1 Y.H.

僕はコロナの中で中学の入学式を行いました。

保護者の方がいない入学式で、ソーシャル
ディスタンスを保ちながら式を行い静か
な中で入学しました。コロナは中学や生活、
色々変えてしまい大変だと実感しました。

「高校生になって」

エンジェルホーム 5A 寮 高 1 Y.K.

私が高校入学を決めたのは同級生の誰よ
りも遅く、高校入学の為の知識も全くあり
ませんでした。今高校生活を充実出来て
いることは周りで支えてくれた先生や大人

達です。だから 3 年間通い続け、感謝を伝え
たいです。

「高校に入学して」

子供の町 さくら 高 1 M.T.

私は、高校に入学して、初めてのことや、
新しい友だちがふえて、楽しい高校生活を送
れています。

「初めて」のことは二つあります。一つ目
は、作業学習です。作業は先輩といっしょに
する授業で、私は、コンクリート班でがんば
っています。

二つ目は実習です。実習は 3 学期のげん
ば実習に向けてがんばります。来年は、妹も
入学するのでいい先輩になれるようがんば
ります。

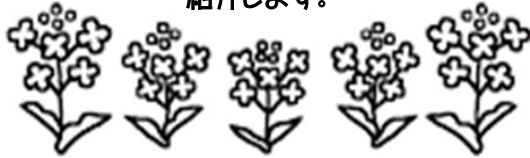
「幼稚園に入園して」

エンジェルホーム 6 寮 大沼 泉美

6 寮では今年度、2 名が幼稚園に入園しま
した。2 人とも期待もありつつ、体験入園で
は大勢の他児らに驚き不安そうな様子もあ
りました。例年とは異なる形で幼稚園がス
タートしましたが、2 人とも楽しそうに登
園しています。先生からも、次第に生き生き
とした表情が見られるようになったと聞いて
います。これから幼稚園での様々な体験
を通して、たくさんのことを吸収し、のびの
びと健やかに成長してくれることを願いま
す。



地域小規模施設「菜の花」は、
開設8年目を迎えました。現在は、
5 人の子どもたちが暮らしています。
「菜の花」の今年の夏休みの様子を
紹介します。



「菜の花の夏休み」

主任 平塚 美加子

異例の夏休みを迎えました。極力外出を控える事に趣を置いて過ごした今年は個々に趣味のものを P C で見たり、気のゆくままに T V を見たり、時には勉強をしたりして静かに過ごしておりました。でも、何かしら夏らしい事が出来ないのかとの思いから開催に至った縁日。アイディア満載の子ども達の力を借りて小さな小さな手作り縁日を開催しました。屋台のメニューや作る人も子どもたちで分担作業、会場準備も工夫してみんなが参加型の縁日は想像以上に楽しむことが出来ました。ソーシャルディスタンスを保ちながらも心の寄り添いを感じる夏休みになりました。

「菜の花の縁日」

小 6 Y.Y.

夏休みに菜の花で、お祭りの代わりに縁日をやる事になりました。美味しいものを食べたり、宝探しをしたりしました。私が見つけたのは、ミニレターセットと猫のメモ帳とマスキングテープでした。他にも宝くじとかいろいろあって楽しかったです。次の年もまたみんな楽しくやりたいです。あと、夏休み最後のあたりで映画を見まし

た。のび太の新恐竜を観ました。

「楽しかった夏休み」

中 2 M.S.

今年の夏休みは新型コロナウイルス感染予防の為、塾以外あまり外出しませんでした。だから、家の中では色々楽しみました。個人では、好きなアニメを見たり、沢山曲の入ったラブライブの C D を職員さんに買いに行ってもらって聴いたり、P C の動画を見て楽しみました。また、お盆には、夜スイカを買いに出かけて丸いスイカを買ったり、花火をしたりしました。休みの最後には縁日をやりました。今回の縁日は職員さんからの提案だったので、来年は自分たちで企画からやりたいと思いました。



「今年の夏」

高 2 A.S.

今年はバイトを始めてから初めての夏休みでした。バイトを始めて九か月の月日が経ち、洗浄機での作業が出来るまでになりました。出来る事が増え、洗い場に駆り出される事も多くなり、夏の洗い場は地獄でした。とにかく熱気が立ち込め、ここはサウナなのかと錯覚してしまうほどです。残りがもう少しだから頑張ると励まされ、頂くカルピスは格別です。ただ、氷が解けて直ぐにぬるくなってしまいます。私の今年の夏休みはバイトの夏休みでした。



職員寄稿

「昔と今」

給食室 調理師 北ノ内葉月

自分が子供の町に来て、12 年が経ちました。自分が子供の町に来た当初、子どもたちは 160 人ぐらい居て、園内がいつもにぎやかに感じました。今、子どもたちは 130 人ぐらいまで減り少し寂しく感じています。

その中で新しいなった物も色々あり、ユニット寮が建ったり、綺麗なグラウンドができて来年には、東棟が新しくなり「子供の町」がどんどん未来に向かって進んでいるのを感じます。

「今年の夏に欲しかったもの」

子供の町 ひまわり 関岡奈菜

今年の夏に私が何度も何度も欲しいと思ったものを紹介します。私はいつも南桜井駅から歩いて通勤しています。今年の夏はじりじりとした暑さが続き、通勤だけで汗だくでした…。それに加え、気付いたら腕が真っ黒に日焼けしてしまいかなり落ち込みました。(笑)そんな私が今年の夏 1 番ほしいと思った物は…車です!!車さえあれば快適で日焼けもほばない夏になったはずです…。来年は「快適な夏を迎えるために車を手に入れたい」と強く思った 2020 年の夏でした。



「仕事中に感じる事」

エンジェルホーム 9 寮 宮澤 歩

私が日頃から感じていることは、報告・連絡・相談の重要性和相談できる人のありがたさです。報告・連絡・相談が重要な事は当然ですが、自分自身が気持ちよく仕事をやる為にも意識しています。仕事をしている

と子ども達の様子や発言、要望など様々な変化に対して自分で考えたり動いたりしますが、それでも納得いかない時や正しかったのか不安な時があります。そういった時に相談できる人が周りにいることで安心して仕事が出来ており、感謝しています。

「日頃感じている事」

子供の町 あおば 船越彩華

今年度、私は子供の町に入職してから 5 年目を迎えました。この仕事の難しさを感じていますが、有り難いことに私自身子供との生活を楽しみながら仕事をさせて頂いています。

仕事を通して多くの子どもと関わる中で、子どもにとっての大人の存在の大きさを感じています。子どもの 1 番身近な大人として、どう子どもと関わっていくのが良いか考える日々です。1 番身近だからこそその難しさもありますが、一緒に過ごす日常を通して子どもに安心してもらえる大人を目指していきたいです。



子供の町あれこれ

◆7 月 8 日＜新たな生活様式型全体会議＞全体会議となると 75 名もの職員が集合となるため、今年度スタートしてから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できずにいましたが、初めての Zoom での Web 全体会議を実施しました。今年度の事業計画等の説明のあと、各種委員会や分掌担当から年間計画の説明がありました。施設内では、初めての Web 会議でしたが、概ねスムーズに進行され、新たな生活様式に対応した会議を体験しました。

◆7月22日＜ありがとうございました＞
夜、職員と言い争いとなり、施設を飛び出して国道沿いを歩いていた中学生2人にジョギングをしていた地域のTさんが声をかけてくれました。子どもたちから話を聞いたTさんから施設に連絡をいただき、職員が迎えに行き無事帰ってくることができました。「自分にも同じぐらいの娘がいるので・・・」と職員が迎えに行くまで2人と話しをして待っていてくれました。本当にありがとうございました。

◆8月29日＜勝利の笑顔＞
今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、埼児協の親善ソフトボール大会は中止となりました。それでもソフトボールクラブのメンバーは、基礎体力作りと精神力や協調性を養うため早朝練習を行なってきました。迎えた8月29日早朝に職員との交

流戦を実施しました。駆けつけてくれたボランティアの方と職員チームを相手に見事勝利したソフトボールクラブのメンバーは、自信の笑顔が朝陽に眩しく光っていました。

◆9月1日＜22年目の移籍＞
長年、公用車として使用してきたトヨタノア。「オリンピック車」と呼ばれ児童の外出に、あちこちへと親しまれていました。長野パラリンピックで使用された寄贈車両で、長野パラリンピックのロゴの入ったノアも始動できなくなり、いよいよ引退かと自動車整備店へ引き取られていきました。翌日、店長から「宮城県の業者が引き取り使用したい」との連絡。再び第三の活躍の場を得られた「オリンピック車」、今度はどんな人たちを乗せて長野オリンピックの思い出を語らせるのでしょうか？



令和2年6月～9月に寄付金・寄付品を頂いた方々（順不同・敬称略）

（株）アイエヌジー
（株）IMC
荒木嗣則
石川弘
石黒紅海
石橋信夫
和泉英仁
井上修
内堀医院
梅溪通明
ウルノ商事（株）
（株）オートフレンズ春日部
大崎信義
大宮アルディージャ
大山金次
春日あや子
春日部第2児童センター グーカすかべ
加藤佳美
カトリック春日部協会有志一同
（株）かまわぬ
（株）クシマ
毛部川裕一
コストコホールセールジャパン新三郷倉庫店
埼玉県社会福祉協議会
埼玉県労働者福祉協議会
埼玉りそな銀行 庄和支店
坂崎亮二
佐川急便（株）東京本社

佐藤恵
三州製菓（株）
（株）ジャパングートウェイ
シフォンママ工房
島村総一郎
翔夢興行（株）
庄和商工会 青年部
白石和代
鈴木アサ子
鈴木幸夫
スペース悠悠
セカンドハーベスト・ジャパン
第一生命保険（株）埼玉東部支店
太平 内牧夢らんど
太平 かすかべ夢らんど
太平 杉戸夢らんど
太平 平方夢らんど
太平 エルアンドエル
高柳優子
高山繁
田中文男
チュチュアンナ
ティディベア工房 BUBU
東京新美術 紫舟
特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン
（株）トータルデザインセンター
中島啓

中条紀孝
中村美雪
生出順子
長谷川浩一
早川工業所（株）
早瀬三洋
ビーアール（株）
（株）ヒロファーム
広松三和子
（株）フレイベル館
分娩館医院
（株）ホワイトアース
（株）松本商会
道永優里
三井住友海上火災保険（株）
南みどり
ムラヤマ産業（有）
（株）明治住設
（有）東武管工設備
遊佐亜希子
夢の掛け橋プロジェクト
柳瀬七生
横山真佐子
楽園 南越谷店
和田悦子
長島真理子
他 匿名の方々

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました。

